



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス  
コード番号 9684 URL <http://www.square-enix.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 洋祐  
問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 渡邊 一治

TEL 03-5292-8000

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	37,754	56.8	5,068	634.9	4,855	224.2	3,408	—
26年3月期第1四半期	24,083	△3.3	689	—	1,498	—	△493	—

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 3,312百万円 (689.6%) 26年3月期第1四半期 419百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	29.57	29.54
26年3月期第1四半期	△4.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	212,952	130,361	60.6	1,119.24		
26年3月期	216,617	127,676	58.3	1,095.78		

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 129,013百万円 26年3月期 126,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	10.3	4,000	△14.5	4,000	△29.4	2,600	△2.3	22.57
	～74,000	～20.0	～7,000	～49.7	～7,000	～23.5	～4,500	～69.1	～39.06
通期	140,000	△9.7	5,000	△52.6	5,000	△60.1	3,500	△47.0	30.38
	～150,000	～△3.2	～10,000	～△5.2	～10,000	～△20.2	～6,500	～△1.5	～56.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成27年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	115,575,696 株	26年3月期	115,575,696 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	307,053 株	26年3月期	306,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	115,268,810 株	26年3月期1Q	115,067,853 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成26年8月6日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライツ・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は37,754百万円(前年同期比56.8%増)、営業利益は5,068百万円(前年同期比634.9%増)、経常利益は4,855百万円(前年同期比224.2%増)、四半期純利益は3,408百万円(前年同期は、493百万円の四半期純損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ○デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当第1四半期連結累計期間は、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、「マードド 魂の叫ぶ声」を欧米向けに発売したほか、昨年度発売したタイトルのリピート販売が好調でありました。

また、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、ブラウザゲーム「戦国IXA(イクサ)」やスマートフォン向けゲーム「ドラゴンクエストモンスターズ スーパーライト」が引き続き順調に推移したほか、4月にサービスを開始した「スクールガールストライカーズ」が、好調なスタートを切っております。

多人数参加型オンライン・ロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」、「ドラゴンクエストX」の運営も、堅調に推移しております。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は23,450百万円(前年同期比102.6%増)となり、営業利益は4,509百万円(前年同期比242.0%増)となりました。

#### ○アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、4月にアミューズメント機器「パズドラ バトルトーナメント ラズール王国とマドロミドラゴン」を稼働開始した他、アミューズメント施設運営も、消費税率の引き上げによる影響はあったものの、効率的な店舗運営に努め、業績は堅調に推移しております。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は11,032百万円(前年同期比13.5%増)となり、営業利益は1,542百万円(前年同期比79.6%増)となりました。

#### ○出版事業

コミック単行本、ゲームガイドブック、定期刊行誌等の出版を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、アニメ化などメディアミックスの効果により、コミックスの売上が順調に推移しました。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,638百万円(前年同期比21.9%増)となり、営業利益は649百万円(前年同期比37.0%増)となりました。

#### ○ライツ・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画、制作、販売及びライセンス許諾を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、引き続き、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾を行うとともに、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化による品揃えの強化や海外展開による収益機会の多様化に努めております。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は674百万円(前年同期比8.2%増)となり、営業利益は193百万円(前年同期比132.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は167,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,201百万円減少しました。これは主に現金及び預金が3,253百万円及び受取手形及び売掛金が4,586百万円減少したこと、コンテンツ制作勘定が3,968百万円増加したことによるものであります。固定資産は45,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,536百万円増加しました。

この結果、総資産は、212,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,664百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は75,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,669百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が1,064百万円、未払法人税等が2,330百万円及び賞与引当金が1,120百万円減少したことによるものであります。固定負債は6,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,680百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が1,939百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、82,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,349百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は130,361百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,684百万円増加しました。これは主に四半期純利益3,408百万円、剰余金の配当2,305百万円及び退職給付に関する会計基準等の適用による増加1,683百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.6%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、欧米における家庭用ゲーム機向けソフト市場の競争激化・上位集中が進む一方、スマートフォン、タブレットPC等の所謂スマートデバイスが急速に普及するなど、大きな変革期にあります。当社は、このような環境変化を踏まえ、事業構造・開発体制の改革を進めることによって、新たな収益基盤を確立する取り組みを強力に進めております。

なお、かかる事業環境の変化に伴い、売上・損益の変動がより大きくなることが想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,811百万円減少し、利益剰余金が1,683百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,367	112,114
受取手形及び売掛金	22,110	17,523
商品及び製品	2,013	2,211
仕掛品	700	303
原材料及び貯蔵品	433	307
コンテンツ制作勘定	20,556	24,525
その他	12,573	10,581
貸倒引当金	△151	△163
流動資産合計	173,604	167,403
固定資産		
有形固定資産	19,917	20,150
無形固定資産	10,835	10,574
投資その他の資産	12,259	14,823
固定資産合計	43,012	45,548
資産合計	216,617	212,952

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,563	10,498
短期借入金	6,852	6,905
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	2,980	650
賞与引当金	1,771	651
返品調整引当金	4,609	5,052
店舗閉鎖損失引当金	251	216
資産除去債務	3	2
その他	17,475	16,861
流動負債合計	80,508	75,839
固定負債		
役員退職慰労引当金	178	152
店舗閉鎖損失引当金	383	355
退職給付に係る負債	4,425	2,485
資産除去債務	807	955
その他	2,636	2,803
固定負債合計	8,432	6,752
負債合計	88,940	82,591
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,368	15,368
資本剰余金	44,607	44,607
利益剰余金	71,298	74,085
自己株式	△870	△870
株主資本合計	130,404	133,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253	275
為替換算調整勘定	△4,780	△4,841
退職給付に係る調整累計額	432	388
その他の包括利益累計額合計	△4,095	△4,177
新株予約権	348	342
少数株主持分	1,018	1,005
純資産合計	127,676	130,361
負債純資産合計	216,617	212,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	24,083	37,754
売上原価	13,858	19,357
売上総利益	10,225	18,396
返品調整引当金戻入額	4,544	4,582
返品調整引当金繰入額	3,457	5,064
差引売上総利益	11,312	17,914
販売費及び一般管理費	10,622	12,845
営業利益	689	5,068
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	5	7
為替差益	787	—
雑収入	28	35
営業外収益合計	843	72
営業外費用		
支払利息	22	24
支払手数料	13	13
為替差損	—	248
雑損失	0	0
営業外費用合計	35	285
経常利益	1,498	4,855
特別利益		
投資有価証券売却益	24	—
新株予約権戻入益	2	7
その他	0	—
特別利益合計	27	7
特別損失		
固定資産除却損	9	63
関係会社株式評価損	—	41
コンテンツ評価損	1,633	—
その他	64	29
特別損失合計	1,706	133
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は 純損失(△)	△181	4,730
匿名組合損益分配額	6	△3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△187	4,733
法人税、住民税及び事業税	225	289
法人税等調整額	76	1,028
法人税等合計	301	1,318
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△489	3,414
少数株主利益	4	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△493	3,408



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△489	3,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	22
為替換算調整勘定	773	△80
退職給付に係る調整額	—	△44
その他の包括利益合計	908	△102
四半期包括利益	419	3,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364	3,325
少数株主に係る四半期包括利益	55	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,577	9,719	2,164	622	24,083	—	24,083
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	0	0	0	△0	—
計	11,577	9,719	2,164	623	24,084	△0	24,083
セグメント利益	1,318	859	474	83	2,734	△2,044	689

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,044百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△2,053百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,450	11,032	2,618	652	37,754	—	37,754
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	19	21	41	△41	—
計	23,450	11,032	2,638	674	37,795	△41	37,754
セグメント利益	4,509	1,542	649	193	6,895	△1,826	5,068

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,826百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△1,833百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。